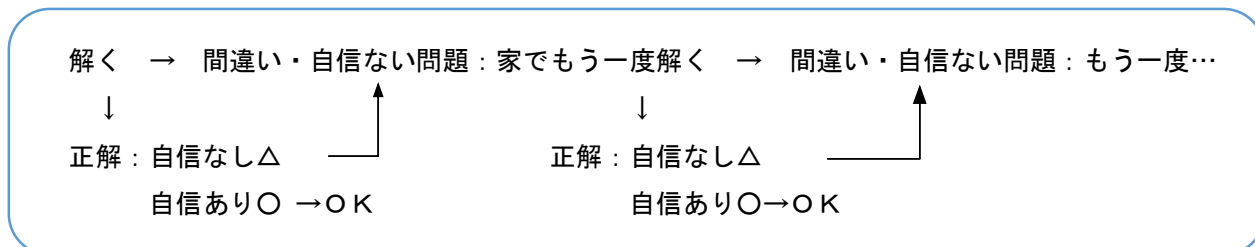


私の勉強法

杉村 明子

1. しつこく、しつこく、とにかくしつこく繰り返す



テストで間違えた問題やわからなかったものをそのままにしておいてはいませんか？その問題が次のテストや受験で出たらどうします？その時になって焦らないように、見直すことが大切です。

見直す時のポイントは、何度も解いて法則性（解き方）を見つけることです。大切なのは自分で解くことだと思います。答えは見ても良い。ただし丸写しは意味がないです！そして2回以上やっても解けないものや間違える問題こそ、自分の弱点であり克服したい問題ですよ。

2. 目と耳と口を使おう

漢字や英単語など、覚えるものはたくさんありますよね。「ひたすら書いて覚える」人も多いでしょう。文字を書くときは手と目と使っていますが、読みながら書いたり、思い出しながら言うなど、口や耳も使うことをオススメします。言葉は言う（使う）ことで覚えるものだと思います。ただ書くだけではなく、目と耳と口を使うとさらに覚えやすくなりますよ。

る らる す さす しむ む まし まほし ず じり

上の言葉は国語（古文）で未然形につく助動詞たちです。

授業の始めにいつも唱えていたおかげで、今でも忘れられません。

皆さんも小学生の時、掛け算（九九）を何度も唱えませんでしたか？

たくさん唱えて、何も見なくてもスラスラ言えるようになったら完璧ですね。

3. ノートは自分だけの最強の武器

勉強する時に使うものといえば…教科書、便覧、問題集、など色々あります。皆が同じものを使っているのに差がつくのは何故でしょう？その差が生まれる原因の1つはノートだと思います。

(1) ノートを取る時は自分でルールを決めましょう。例えば国語でノートを書くとき、動詞は赤のペン、助動詞は青のペン、形容詞は緑のペン…というように、後で見たときにぱっとわかるようにするのが大切です。

(2) 授業中でわかったこと、ポイントが書き込める欄を用意する。

(3) 綺麗に丁寧に、後で見てもわかるように書く。

読めない、全部黒い、そもそも書いてない…なんて論外です！